

会員名：熊本県

重点課題に関する報告事項 (1) 確実な再造林の実施

(表題) 森林の再生に向けた取組み

(概要)

【取組】

従来からの国・県での造林補助事業による支援のほか、森林再生対策として、林業事業者における再造林、下刈りの事業拡大や人員確保への支援、従事者の就労環境改善等への支援、及び造林未済地の解消に向け所有者への働きかけのためのコーディネーターの配置に取り組んでいるところ。(詳細は別紙のとおり。)

【課題】

再造林や下刈りなどの作業は機械化が困難で人力に頼らざるを得ない中、これを担う育林従事者の人員が不足していること、また、長期的な林業収益性の低迷により、所有者においては林業への関心が薄れており、いかにして所有者の再造林への意欲を高めるのかといったことが課題として挙げられる。

# 森林の再生に向けた取組み

新 拡

<b>予算額 85百万円 (85百万円)</b>	
森林再生支援事業	[森林整備課]
森林再生コーディネート事業	[森林整備課]
豊かな森林づくり人材育成事業	[林業振興課]

○コロナ禍でのウッドショックによる影響等から、県内の森林の主伐が加速化傾向にある中、再造林や下刈りを担う林業事業者の人員不足から、再造林率が伸び悩んでいる状況

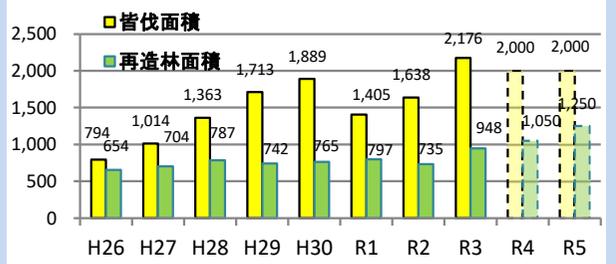
○再造林、下刈りの事業量の拡大や人員の確保、就労環境改善等に要する経費を支援することで、森林の再生を促進する

## <現状・課題>

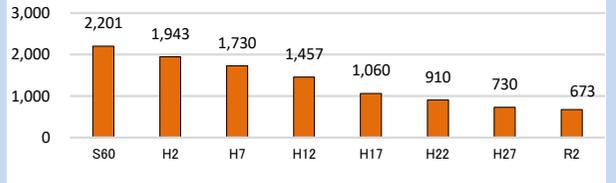
○ウッドショックが木材生産活動の追い風となり、皆伐面積は増加傾向。

○林業従事者の不足などから、再造林率は約4割程度と低迷し、将来に向けた森林資源の確保のみならず、森林の公益的機能の適切な発揮に支障の恐れ。

### ① 県内の人工林皆伐（主伐）と再造林面積の推移 (ha)



### ② 減少する担い手：育林従事者数の推移(人)



再造林面積を増加させ森林の再生を促進 (R4 1,050ha程度 → R5 1,250ha程度)

## <事業概要>

### (1) 森林再生支援事業 **拡**

○事業費：59百万円

○事業内容：

①前年度実績から再造林・下刈りの事業を拡大した事業者に対して定額を支援

- ・再造林：115千円/ha
- ・下刈り：22千円/ha

②林業未経験者を雇用した事業者に対して定額を支援

- ・上限442千円/人

[雇用準備に係る経費  
新規従事者による作業の掛かり増し経費]

○事業主体：再造林、下刈りを行う事業者

○負担割合：県10/10

○事業期間：令和3年度～

### (2) 森林再生コーディネート事業 **新**

○事業費：10百万円

○事業内容：

球磨地域の地域協議会が、造林未済地の解消に必要な専門員（コーディネーター）を配置した場合に、定額を支援

○事業主体：

球磨地域の市町村等が構成する協議会

○負担割合：県10/10（定額：上限5,000千円/人）

○事業期間：令和5年度～令和6年度

### (3) 豊かな森林づくり人材育成事業 **拡**

○事業費：116百万円（事業費の一部）

○事業内容：

労働者への待遇改善（賃金UP：3%以上）を行った林業事業者が、造林・保育作業を行う労働者に係る法定外福利厚生取組(※)を実施する場合に、定額を支援

※例：人間ドック、蜂アレルギー対策、現場通勤、特殊作業やそのほか労働者の就労環境改善に資する取組

○事業主体：（公財）林業従事者育成基金

○負担割合：県10/10（定額：上限100千円/人）

○事業期間：令和5年度～令和7年度

